

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道497号 今宿道路	自:福岡県福岡市 至:福岡県糸島市	昭和45年度事業化 昭和47年度用地着手 昭和47年度工事着手	2,746 2,791	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約95% 事業進捗率:約79% (令和5年3月末時点)  上深江交差点～糸島市二丈福井 L=5.8km(一般部2/4) S58年度部分開通 真方交差点～東交差点 L=0.5km(一般部2/2) S63年度開通 波多江交差点～有田中央交差点 L=2.2km(一般部2/4) H4年度部分開通 福重JCT～東交差点 L=14.5km(自専部4/4) H10～H15年度開通 東交差点～上深江交差点 L=3.0km(一般部2/2) H16年度開通 青果市場入口交差点～飯氏交差点 L=7.4km(一般部4/4) H18年度開通 飯氏交差点～波多江交差点 L=1.7km(一般部4/4) H25年度開通 波多江交差点～有田中央交差点 L=2.2km(一般部4/4) H26年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進 東地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 東地区改良工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道208号 有明海沿岸道路 (大牟田～大川)	自:福岡県大牟田市 至:福岡県大川市	昭和63年度事業化 平成2年度用地着手 平成12年度工事着手	2,555 2,555	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約98% 事業進捗率:約84% (令和5年3月末時点)  大牟田IC～高田IC L=9.8km(自専部2/4) H19年度部分 開通 柳川西IC～大川東IC L=2.4km(自専部2/4) H19年度部分 開通 高田IC～大和南IC L=2.0km(自専部2/4) H20年度部分 開通 三池港IC～大牟田IC L=1.9km(自専部2/4) H23年度部分 開通 大和南IC～徳益IC L=3.2km(自専部2/4) H24年度部分 開通 徳益IC～柳川西IC L=4.5km(自専部2/4) H29年度部分 開通 大川東IC～大野島IC L=3.7km(自専部2/4) R2年度部分開 通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大島地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 新港地区改良工 三池港IC橋下部工 大島高架橋下部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道208号 大川佐賀道路	自:福岡県大川市 至:佐賀県佐賀市	平成13年度事業化 平成24年度用地着手 平成27年度工事着手	898 986	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約78% 事業進捗率:約46% (令和5年3月末時点)  大野島IC～諸富IC L=1.7km(自専部2/4) R4年度部分開 通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 川副地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 川副地区ほか改良工 川副1号橋下部工・上部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道3号 岡垣バイパス	自:福岡県遠賀郡岡垣町 至:福岡県宗像市	平成30年度事業化 平成30年度工事着手	87 87	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約91% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 山田地区ほか舗装工 山田地区ほか道路附属物工  遠賀郡岡垣町山田～宗像市武丸 L=4.0km(4/4) 令和5年度開通予定	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道3号 鳥栖久留米道路	自:佐賀県鳥栖市 至:福岡県久留米市	平成19年度事業化 平成21年度用地着手 平成23年度工事着手	387 387	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約96% 事業進捗率:約55% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 小郡地区ほか用地買収 ・工事推進: 宮ノ陣地区改良工 水屋地区改良工 思案橋川橋ほか上部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道3号 広川八女バイパス	自:福岡県八女郡広川町 至:福岡県八女市	令和5年度事業化	340 340	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:0% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道201号 八木山バイパス	自:福岡県糟屋郡篠栗町 至:福岡県飯塚市	平成31年度事業化 令和2年度工事着手	381 381	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約46% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 福ヶ谷橋ほか下部工、 筑前山手橋ほか上部工、 花廻第一橋ほか床版工、 筑穂トンネルほかトンネル工  篠栗IC～筑穂IC L=5.6km(4/4) 令和6年度開通予定  筑穂IC～穂波東IC L=7.7km(4/4) 令和11年度開通予定	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道201号 香春拡幅	自:福岡県田川郡香春町 至:福岡県田川郡香春町	平成20年度事業化 平成24年度用地着手 平成28年度工事着手	101 101	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約70% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 呉地区改良工、 新朝倉橋ほか下部工、 新朝倉橋上部工、 鏡山地区ほか舗装工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道201号 仲哀拡幅	自:福岡県田川郡香春町 至:福岡県京都郡みやこ町	令和4年度事業化	84 84	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道210号 浮羽バイパス	自:福岡県久留米市 至:福岡県うきは市	昭和48年度事業化 昭和52年度用地着手 昭和54年度工事着手	276 276	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約94% (令和5年3月末時点)  S58年度～H19年度: 板町北交差点～田主丸中学校北交差点 L=0.4km(2/4) 部分開通 船越小学校北交差点～今川通交差点 L=8.3km(2/4) 部分開通 今川通交差点～百堂坂交差点 L=1.7km(2/2) 部分開通 H21年度～H25年度: 田主丸中学校北交差点～船越小学校北交差点 L=2.5km(2/4) 部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 豊城地区用地買収 ・工事推進: 豊城地区改良工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道3号 黒崎バイパス	自:福岡県北九州市 至:福岡県北九州市	平成3年度事業化 平成5年度用地着手 平成10年度工事着手	875 945	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約92% (令和5年3月末時点)  黒崎北ランプ～陣原ランプ L=2.9km(2/4) H20年度部分開通 前田ランプ～皇后崎ランプ L=2.9km(4/4) H23年度開通 東田ランプ～前田ランプ L=0.9km(2/4) H24年度部分開通 春の町ランプ～前田ランプ L=1.5km(2/2)(4/4) R4年度開通 陣原オンランプ R4年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 黒崎西ランプ橋下部工・上部工、 床版工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道3号 博多バイパス (下臼井～空港口)	自:福岡県福岡市 至:福岡県福岡市	令和4年度事業化	360 360	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道497号 伊万里道路	自:佐賀県伊万里市 至:佐賀県伊万里市	平成7年度事業化 平成22年度用地着手 平成28年度工事着手	339 339	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約49% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 長浜地区ほか用地買収 ・工事推進: 白野地区ほか改良工 藤の尾池橋下部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道497号 伊万里松浦道路	自:佐賀県伊万里市 至:長崎県松浦市	平成9年度事業化 平成19年度用地着手 平成20年度工事着手	712 712	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約66% 事業進捗率:約63% (令和5年3月末時点)  山代久原IC～今福IC L=5.5km(2/2) H26年度開通 今福IC～調川IC L=2.6km(2/2) H29年度開通 調川IC～松浦IC L=2.2km(2/2) H30年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 楠久地区ほか用地買収 ・工事: 楠久地区取得用地管理工事	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道203号 多久佐賀道路(Ⅰ期)	自:佐賀県多久市 至:佐賀県小城市	平成15年度事業化	280 280	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約5% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道3号 鳥栖拡幅	自:佐賀県鳥栖市 至:佐賀県鳥栖市	平成20年度事業化 平成25年度用地着手 平成29年度工事着手	112 112	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 約97% 事業進捗率: 約79% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 酒井西地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 曽根崎地区ほか改良工 八坂橋下部工・上部工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道34号 神崎佐賀拡幅	自:佐賀県神崎市 至:佐賀県佐賀市	平成4年度事業化 平成7年度用地着手 平成12年度工事着手	153 153	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 約47% 事業進捗率: 約85% (令和5年3月末時点) 上犬童交差点～掘立西交差点 L=0.8km(4/4) H17年度開通 掘立西交差点～下刈交差点 L=2.1km(4/4) H22年度開通 姉川地区 L=0.5km(2/4) H27年度橋架替完了	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 上犬童地区用地買収 ・工事: 上犬童地区取得用地管理工事	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道34号 武雄バイパス	自:佐賀県武雄市 至:佐賀県武雄市	昭和49年度事業化 昭和55年度用地着手 昭和57年度工事着手	250 250	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 約93% 事業進捗率: 約75% (令和5年3月末時点) 武雄市武雄町武雄～武雄市北方町大字大崎 L=4.1km(2/4) H元年度部分開通 武雄市武雄町武雄～武雄市武雄町武雄 L=0.8km(4/4) H12年度開通 武雄市北方町大字大崎～武雄市北方町大字大崎 L=1.4km(2/4) H29年度部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 高野地区用地買収 ・工事: 高野地区取得用地管理工事	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道202号 唐津バイパス	自:佐賀県唐津市 至:佐賀県唐津市	令和4年度事業化 令和5年度工事着手	60 60	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約2% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 鏡地区ほか改良工着手	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道497号 松浦佐々道路	自:長崎県松浦市 至:長崎県北松浦郡 佐々町	平成26年度事業化 平成27年度用地着手 平成28年度工事着手	907 907	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約90% 事業進捗率:約58% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 乱橋地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 志佐地区ほか改良工 江迎4号橋下部工 松浦2号橋ほか上部工 松浦1号トンネルほかトンネル工 江迎3号トンネル工着手	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道57号 森山拡幅	自:長崎県雲仙市 至:長崎県諫早市	昭和63年度事業化 平成8年度用地着手 平成11年度工事着手	594 594	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約92% (令和5年3月末時点)  尾崎交差点～長野町交差点 L=1.6km(4/4) H21年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 田尻地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 赤崎地区ほか改良工 尾崎高架橋下部工 下井牟田赤崎高架橋上部工 田尻地区ほか道路附属物工 田尻地区ほか舗装工  森山東IC～森山西IC L=3.3km(2/2) 令和5年度開通予定	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道34号 大村拡幅	自:長崎県大村市 至:長崎県大村市	平成3年度事業化 平成9年度用地着手 平成11年度工事着手	147 147	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約99% (令和5年3月末時点)  市役所前交差点～大村高校前交差点 L=0.5km(4/4) H14年度開通 大村高校前交差点～玖島中学校入口交差点 L=0.5km(4/4) H20年度開通 水主町交差点～市役所前交差点 L=1.0km(4/4) H20年度開通 玖島中学校入口交差点～国立医療センター入口交差点 L=0.3km(4/4) H21年度開通 国立医療センター入口交差点～久原2丁目交差点 L=0.2km(4/4) H22年度開通 久原2丁目交差点～与崎交差点 L=0.7km(4/4) H23年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。
国道34号 大村諫早拡幅	自:長崎県大村市 至:長崎県諫早市	平成30年度事業化 令和3年度用地着手	160 160	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約4% 事業進捗率:約7% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 下渡野地区用地買収	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道205号 針尾バイパス	自:長崎県佐世保市 至:長崎県佐世保市	平成19年度事業化 平成19年度用地着手 平成19年度工事着手	131 131	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約72% (令和5年3月末時点)  有福高架橋～小浦橋 L=1.7km(4/4) H22年度開通 小浦橋～江上交差点 L=0.7km(4/4) H25年度開通 江上交差点立体化 R元年度	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 塔崎地区改良工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
九州横断自動車道 延岡線 嘉島JCT～矢部	自:熊本県上益城郡 嘉島町 至:熊本県上益城郡 山都町	平成10年度事業化 平成17年度用地着手 平成17年度工事着手	1,094 1,094	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約97% (令和5年3月末時点)  嘉島JCT～小池高山IC L=1.8km(2/4) H25年度部分開通 小池高山IC～山都中島西IC L=10.8km(2/4) H30年度部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 山都地区改良工 山都地区舗装工  山都中島西IC～山都潤瀧橋IC L=10.4km(2/4) 令和5年度開通予定	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道218号 矢部清和道路	自:熊本県上益城郡 山都町 至:熊本県上益城郡 山都町	令和4年度事業化	740 740	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 0% 事業進捗率: 約1% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道218号 蘇陽五ヶ瀬道路	自:熊本県上益城郡 山都町 至:宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町	令和2年度事業化 令和4年度用地着手 令和5年度工事着手	320 378	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 約1% 事業進捗率: 約5% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 滝上地区ほか用地買収 三ヶ所地区用地買収 ・工事推進: 塩原地区改良工着手 室野地区改良工着手	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道3号 芦北出水道路	自:熊本県葦北郡 芦北町 至:鹿児島県出水市	平成5年度事業化 平成11年度用地着手 平成20年度工事着手	1,923 1,923	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約70% (令和5年3月末時点)  芦北IC～津奈木IC L=7.7km(2/4) H27年度部分開通 津奈木IC～水俣IC 延長5.6km(2/4) H30年度部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 袋地区ほか改良工 下鯖地区ほか改良工 境川橋ほか下部工 六月田橋ほか下部工 水俣川橋ほか上部工 六月田橋ほか上部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道57号 竹田阿蘇道路	自:大分県竹田市 至:熊本県阿蘇市	平成31年度事業化 令和3年度用地着手 令和4年度工事着手	688 688	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約7% 事業進捗率:約8% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 波野地区用地買収 会々地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 上鹿口地区改良工 波野IC橋下部工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道57号 滝室坂道路	自:熊本県阿蘇市 至:熊本県阿蘇市	平成25年度事業化 平成29年度用地着手 平成30年度工事着手	636 636	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約60% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 坂梨地区改良工 坂梨2号橋下部工 滝室坂トンネル工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道57号 大津熊本道路 (大津西～合志)	自:熊本県菊池郡大津町 至:熊本県合志市	令和4年度事業化	310 310	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道57号 大津熊本道路 (合志～熊本)	自:熊本県合志市 至:熊本県熊本市	令和2年度事業化 令和4年度用地着手 令和5年度工事着手	530 530	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約3% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 合生地区ほか用地買収 大鳥居町地区用地買収 ・工事推進: 上生川橋下部工着手	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道57号 熊本宇土道路	自:熊本県熊本市 至:熊本県宇土市	平成9年度事業化 平成13年度用地着手 平成18年度工事着手	404 404	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約36% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事: 海路口地区取得用地管理工事 城塚地区取得用地管理工事	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道57号 宇土道路	自:熊本県宇土市 至:熊本県宇土市	平成21年度事業化 平成26年度用地着手 平成28年度工事着手	257 434	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約98% 事業進捗率:約34% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 網津地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 城塚地区ほか改良工 城塚橋上部工 糖塚山トンネルほかトンネル工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道57号 宇土三角道路	自:熊本県宇土市 至:熊本県宇城市	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	747 747	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率: 0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三角地区用地買収着手	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道208号 荒尾道路	自:熊本県荒尾市 至:熊本県荒尾市	令和5年度事業化	230 230	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:0% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道3号 植木バイパス	自:熊本県熊本市 至:熊本県熊本市	平成11年度事業化 平成13年度用地着手 平成19年度工事着手	308 308	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約76% (令和5年3月末時点)  熊本市北区植木町大字鞍掛～鎧田 L=2.3km(2/4) H23年度部分開通 熊本西環状道路～国道3号 L=0.9km(2/4) R4年度部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収: 鎧田地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 鎧田地区ほか改良工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道212号 三光本耶馬溪道路	自:大分県中津市 至:大分県中津市	平成19年度事業化 平成21年度用地着手 平成22年度工事着手	576 576	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約88% (令和5年3月末時点)  中津IC～田口IC L=2.8km(2/2) H30年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 跡田地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 落合地区ほか改良工 上ツル橋ほか下部工 三光田口地区ほか舗装工 三光第3号トンネル舗装工  田口IC～青の洞門・羅漢寺IC L=5.3km(2/2) 令和5年度開通予定	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道10号 高江拡幅	自:大分県大分市 至:大分県大分市	平成26年度事業化 平成28年度用地着手 平成31年度工事着手	110 110	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約60% 事業進捗率:約45% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 鶴野地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 鶴野地区改良工 高江橋ほか下部工 昆布刈橋上部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道210号 横瀬拡幅	自:大分県大分市 至:大分県大分市	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和2年度工事着手	46 46	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約78% 事業進捗率:約34% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 横瀬地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 横瀬地区改良工 瀬戸田橋下部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
東九州自動車道 清武JCT～北郷	自:宮崎県宮崎市 至:宮崎県日南市	平成10年度事業化 平成17年度用地着手 平成17年度工事着手	1,622 1,622	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約96% (令和5年3月末時点) 清武JCT～清武南IC L=1.2km(2/4) H24年度部分開通 清武南IC～日南北郷IC L=17.8km(2/4) R4年度部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 事業損失補償 ・工事推進: 工事用道路撤去工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。
国道218号 五ヶ瀬高千穂道路	自:宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町 至:宮崎県西臼杵郡 高千穂町	平成30年度事業化 令和2年度用地着手 令和3年度工事着手	470 559	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約32% 事業進捗率:約10% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 室野地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 西臼杵地区ほか改良工 童里トンネル工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道218号 高千穂雲海橋道路	自:宮崎県西臼杵郡 高千穂町 至:宮崎県西臼杵郡 日之影町	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	160 160	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:約2% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査設計: 調査設計 ・用地買収推進: 三田井地区用地買収着手	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道220号 日南・志布志道路	【日南区間】 自:宮崎県日南市 至:宮崎県日南市 【志布志区間】 自:鹿児島県志布志市 至:鹿児島県志布志市	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和元年度工事着手	319 319	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約92% 事業進捗率:約57% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 益安地区ほか用地買収 宗妻地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 益安地区ほか改良工 志布志IC地区ほか改良工 日南東郷IC橋ほか下部工 前川橋ほか下部工 日南油津大橋ほか上部工 志布志ICランプ橋ほか上部工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道220号 油津・夏井道路	【油津区間】 自:宮崎県日南市 至:宮崎県日南市 【串間・夏井区間】 自:宮崎県串間市 至:鹿児島県志布志市	令和元年度事業化 令和3年度用地着手 令和4年度工事着手	771 771	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約15% 事業進捗率:約6% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 西方地区ほか用地買収 中野地区ほか用地買収 ・工事推進: 平野地区改良工 金藏輪地区ほか改良工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道10号 都城道路(Ⅱ期)	自:宮崎県都城市 至:宮崎県都城市	平成19年度事業化 平成24年度用地着手 平成28年度工事着手	356 356	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約76% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 高木地区ほか改良工 高木IC橋ほか下部工 乙房JR跨線橋ほか上部工 太郎坊橋床版工  都城IC～乙房IC L=5.7km(2/4) 令和6年度開通予定	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

## 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道10号 新富バイパス	自:宮崎県児湯郡新富町 至:宮崎県宮崎市	昭和41年度事業化 昭和41年度用地着手 昭和41年度工事着手	195 195	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約89% (令和5年3月末時点)  新富町日置～新富町上富田 L=2.4km(2/4) S43年度部分開通 新富町三納代～新富町上富田 L=1.7km(4/4) H11年度開通 軍瀬交差点付近 L=0.6km(4/4) H19年度開通 田中地区 L=0.8km(4/4) H29年度開通 日向大橋地区 L=1.0km(4/4) H29年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三納代地区ほか用地買収	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道10号 住吉道路	自:宮崎県宮崎市 至:宮崎県宮崎市	令和5年度事業化	490 490	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:0% 事業進捗率:0% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。
国道3号 阿久根川内道路	自:鹿児島県阿久根市 至:鹿児島県薩摩川内市	平成27年度事業化 平成29年度用地着手 平成30年度工事着手	1,050 1,050	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約35% 事業進捗率:約14% (令和5年3月末時点)	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 湯田地区ほか用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 西目地区ほか改良工 草道川橋下部工 網津トンネル工	・引き続きコスト縮減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト縮減を図る。

# 九州地方整備局の事業進捗等について

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道3号 鹿児島東西道路	自:鹿児島県鹿児島市 至:鹿児島県鹿児島市	平成13年度事業化 平成14年度用地着手 平成17年度工事着手	938 938	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約73% (令和5年3月末時点)  鹿児島IC～田上ICランプ L=0.4km(2/4) H21年度部分開通 鹿児島IC～田上ICランプ L=0.4km(4/4) H25年度開通 田上IC～建部IC L=1.8km(2/4) H25年度部分開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 武地区用地買収 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 田上地区改良工 田上高架橋上部工 東西道路シールドトンネル工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道10号 白浜拡幅	自:鹿児島県始良市 至:鹿児島県鹿児島市	平成19年度事業化 平成22年度用地着手 平成25年度工事着手	150 150	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約41% (令和5年3月末時点)  大崎地区 L=0.3km(4/4) H27年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 白浜地区改良工 脇元高架橋下部工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道10号 鹿児島北バイパス	自:鹿児島県鹿児島市 至:鹿児島県鹿児島市	昭和50年度事業化 昭和56年度用地着手 平成4年度工事着手	555 555	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約89% 事業進捗率:約25% (令和5年3月末時点)  祇園之洲～浜町 L=0.9km(2/4) H5年度部分開通 浜町～小川町 L=0.3km(4/4) H11年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 祇園之洲橋下部工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。
国道220号 古江バイパス	自:鹿児島県鹿屋市 至:鹿児島県垂水市	平成元年度事業化 平成4年度用地着手 平成13年度工事着手	200 200	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約83% (令和5年3月末時点)  花岡町交差点～まさかり交差点 L=3.9km(2/2) H19年度開通 古里町交差点～花岡町交差点 L=1.3km(2/2) H22年度開通	R5年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 古里地区ほか改良工	・引き続きコスト削減に取り組んでいく。 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。 ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等によりコスト削減を図る。